

国名(日本語)	シリア・アラブ共和国
国名(英語)	Syrian Arab Republic



国名の由来	シリアは聖書にあるアラムの地で、古代から東地中海沿岸地方を漠然とさす地名だった。国名の語源は定かではないが、かつてこの地方にあった国家アッシリア(日の出の地方の意味)の名が転訛した、という説がある。
国旗の由来	イスラム教圏によくある赤・白・黒・緑の配色。赤は国を守る剣を、白は国民の善を、黒は過去の戦いを表している。中央の2つの緑の星は、美しい大地とアラブの一致を表すと同時に、1958年にエジプトと連合したときの名残りで、両国の友好を示している。
1 面積	18.5万平方キロメートル(日本の約半分)
2 人口	2,240万人(2012年 世界銀行)
3 首都	ダマスカス
4 言語	アラビア語
5 宗教	イスラム教90%(スンニー派 74%、アラウィ派、ドルーズ派など16%)キリスト教10%
6 豆知識	国民の半数近くが戦禍を逃れて難民になっているシリアは、地中海東岸に位置し、トルコ、イラク、ヨルダン、イスラエル、レバノンと接している。「肥沃な三日月地帯」の一部で、古くから東西交流の要衝として栄えてきた。